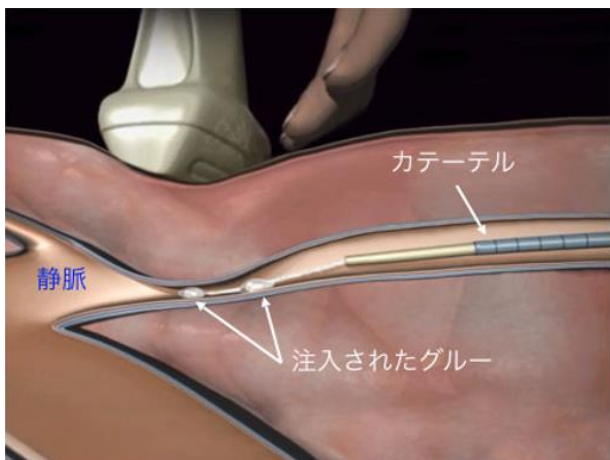


グルー治療は局所麻酔だけで治療できるため、治療時間は約 30 分です。局所麻酔で静脈に針を刺し、針穴からカテーテルを静脈の中に入れます。カテーテルよりグルーを注入し、エコーのプローブで上から押して静脈をふさぎます。治療が終了したら、カテーテルを抜いて絆創膏を貼り、治療は終了です。利点としてはカテーテルを入れる場所の局所麻酔だけで治療ができ、治療後に弾性ストッキングを履く必要がなく、すぐに日常生活に戻って運動や仕事ができる点です。グルー治療は優れた治療ですが、欠点もあります。下肢の静脈が太い場合は治療が難しい場合があります。また、瞬間接着剤のアレルギーがある方は治療が受けられません。グルーは長期間体内に残るので、アトピー、アレルギー体質など、免疫系の病気がある方も治療が難しい場合があります。グルー治療は重大な合併症はほとんどなく、主な合併症として、静脈炎、アレルギー、深部静脈血栓症(エコノミークラス症候群)、血栓性静脈炎、神経障害、感染などがあります。

グルー治療は、従来のレーザー治療よりも身体に優しい治療なので、高齢の方でも治療を受けられます。しかし、すべての方にグルー治療が向いているわけではありません。患者さんの症状と下肢エコー検査をみて、最終的に最も良い治療方法を選択します。結果によっては、グルー治療以外のレーザー治療や静脈抜去術をお勧めする場合があります。いずれにしても、下肢静脈瘤の治療が必要とされた方はためらわずに心臓血管外科外来の火曜日または金曜日を受診していただければ幸いです。



# みどりの丘

緑の「術」が見つめる医療

第 259 号 2023 年 1 月 1 日発行

 東京医科大学八王子医療センター  
TOKYO MEDICAL UNIVERSITY HACHIOJI MEDICAL CENTER

